

調査研究部

1 学校の管理運営に関わる調査及び研究に関すること

(1) 第40回北海道公立学校事務長研究協議会の開催

○令和5年9月8日にホテルライフオート札幌からZ o o mによるオンライン参加形式で開催した。主管支部は十勝支部。主な内容は次のとおり。

◆講演 演 題：「医療がつくる街づくりと人材育成」

講 師：社会医療法人博愛会 理事長 細川 吉博

◆研究協議 発 表 題：「校舎設備の故障等いざという時のために

～突然の停電時の対応～」

発表支部：石狩支部

(2) 道立学校事務改善に関する必要な調査研究

事務改善による学校事務の効率化・省力化の推進及び課題の改善策について、調査研究を行う。

○令和4年度の調査研究推進委員研究協議会で示した「事務職員の標準的な職務の内容」についてのアンケート集計結果を基に、「標準的な職務（事務分掌等）」の研究を進める計画だったが、実施できませんでした。

(3) 人材育成に係る調査研究

事務長の資質向上及び昇任候補者、初任者等の効果的な人材育成等に係る調査研究を行う。

○教育庁総務政策局総務課主幹（人材育成専門官）と人材育成に係る研修の実施に向けて協議を行ったが、実施できませんでした。

2 会員の資質向上に関すること

(1) 調査研究推進委員研究協議会の開催

調査研究推進委員と本部調査研究部との連携強化及び調査研究活動の活性化を図るため、研究協議会を開催した。

◆期 日：令和5年（2023年）11月10日（金）

◆会 場：ホテルライフオート札幌

【研究協議会の内容】

①ICT実技研修「クラウドを使ってみよう」

講 師：NAGANO-R 代表 長野 修二 氏

②研究協議Ⅰ

・本部設定テーマによる全体協議

「事務長のICTスキルとネットワーク等の維持・管理の現状について」

・支部間で協議を要する議題報告

・各支部情報交換

(2) 新人事務長等への研修支援

支部が行う新人事務長及び昇任候補者等を対象とした研修等の取組に対し、講師幹旋や謝金、旅費等の開催経費の支援を行う。

○各支部から要望はありませんでした。

3 調査研究活動の推進に関すること

(1) 支部研究を活用・発信するための研究

調査研究推進委員研究協議会で発表された各支部の研究活動等を、翌年度の同研究協議会

における協議題への採用や全道・全国研究協議会での発表につなげるなど、各支部の取組を活用・発信する方策について研究を行う。

○調査研究推進委員研究協議会後のアンケートで得られた回答内容を参考に、次年度の道立学校事務改善に関する必要な調査研究のテーマや調査研究推進委員研究協議会の本部設定協議題に取り上げる等の対応を考えている。

(2) 支部研究活動への支援

各支部の積極的な研究活動を促すためにZoomも活用したオンライン開催への支援を行う。

○新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日から5類感染症に移行したこともあり、本部から積極的に促す支援は行わなかった。

4 その他

今年度から新体制となり、Zoomを活用した部会の開催で、会場集合にかかる部員の負担軽減に努め、今後の研究活動等の方向性やあり方について検討を行ってきた。次年度は、今後の全国発表等に向けて、複数年かけて取り組む研究テーマの設定、それに伴う研究活動を進めていきたい。